

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月(6月)の予報

平成22年度 予報第2号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

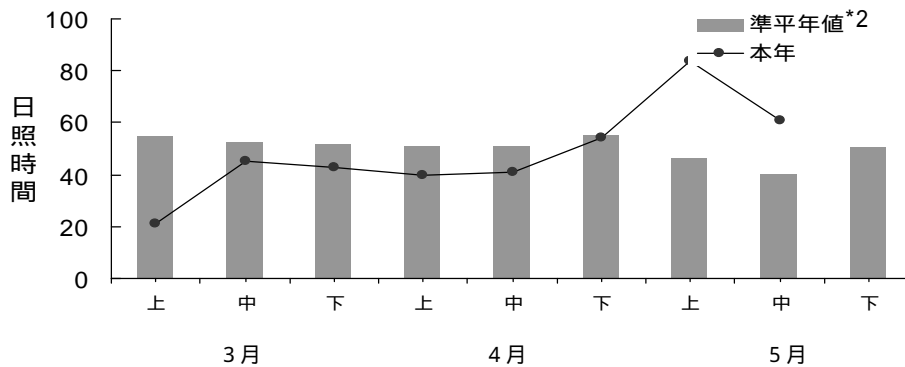
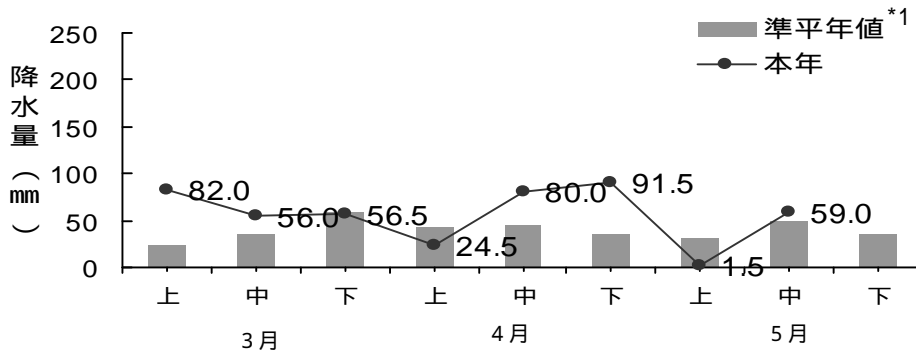
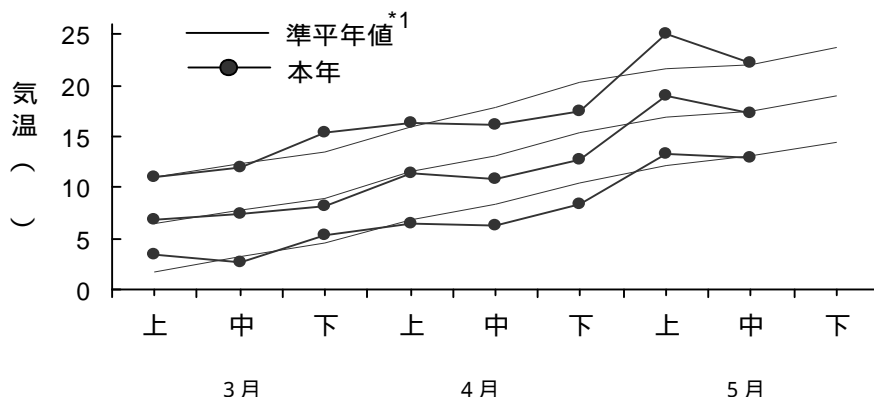
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成22年5月28日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確 率	要 素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気 温	5 0	3 0	2 0
	降 水 量	4 0	3 0	3 0
	日照時間	3 0	3 0	4 0

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の5月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1 : 1979-2000 の平均値 , *2 : 1987-2000 の平均値

近年、無登録農薬が全国的に流通し、使用されている実態が明らかとなり、国民の「食」に対する信頼を損なう大きな問題となりました。

このため、2002年12月に農薬取締法が改正され、2003年3月10日からこの改正法が施行されました。主な改正点は、

無登録農薬の製造、輸入、使用の禁止（販売は従来から禁止）
農薬使用指針に違反する農薬使用の禁止
罰則の強化など

であり、農薬を製造・輸入・販売・使用するすべての国民に関する内容です。

農薬は農林水産省の登録番号のあるものを、ラベルをよく読んで使いましょう。詳しい農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>）の「農薬コナ」をご覧ください。

【病虫害発生予報】（各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す）

・果樹の病虫害

1. ナシの黒星病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. ナシのアブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 南多摩の巡回調査では、被害新梢率は平年の32%に対し0%と低い。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. カキクダアザミウマ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では寄生葉率は例年の2%に対し4%と同程度であった。(±)
- 2) 昨年の発生は少であった。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 通常、越冬成虫が5月上旬頃の新葉展開期に越冬場所からカキ園に飛来し、新葉に寄生後、発生した次世代幼虫が幼果とへたの間に侵入し加害するため、新葉飛来後、葉が巻く前(産卵前)に防除する。
- 2) 防除指針に従い薬剤を散布する。

4. 果樹共通 カメムシ類(チャバネアオカメムシ)

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、一部地域を除き発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. キュウリうどんこ病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

4. キュウリ褐斑病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、施設栽培で発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

5. キュウリべと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

6. カブ・コマツナの白さび病(露地)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い早めに防除する。

7. ネギさび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並みである。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を認めたら防除指針に従い早めに防除する。

8. ネギアブラムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、寄生株率は0%と低い。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。
- 2) ネギ類は薬剤が付着しにくいいため展着剤の加用など考慮する。

9. ネギアザミウマ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、被害程度は11と平年並みである。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

10. コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、10株当たり幼虫・蛹数は平年の6.9頭に対し0頭と少ない。(-)
- 2) フェロモントラップへの誘殺数はやや少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 薬剤抵抗性の出現に注意して、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
- 2) コマツナ・カブなどでは被覆栽培を行い成虫の侵入を防ぐ。

11. ヨトウガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、卵・幼虫寄生株率は平年の9.3%に対し2.2%とやや少ない。(-)
- 2) フェロモントラップへの誘殺数は平年よりやや多い。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

12. コナジラミ類(施設)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、半促成トマトにおける寄生葉率は3.0%と少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設周辺の雑草防除を徹底する。
- 2) 開口部に寒冷紗等を張って外からの成虫の侵入を防ぐ。

3) 今後は黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミ類の発生に注意する必要がある。

13. 露地野菜類のアブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも各作物で発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期が継続する。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら作目ごと、防除指針に従い薬剤を散布する。

14. ニジュウヤホシテントウ(テントウムシダマシ)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は平年の6.8%に対し0%と少ない。(-)
- 2) 今後、増加期にあたる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

. キクの病虫害

1. アブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 予察圃場および巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期にあたる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従って薬剤を散布する。

防除指針オンライン版で最新版を公開中です
(防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

テレフォンサービス
0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネット上の防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。
最新の東京都病害虫防除指針もオンラインでご覧いただけます